2027年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上場会社名　株式会社ディスラプターズ　　上場取引所　東
コード番号　6538　URL https://disruptors.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長グループCEO　(氏名) 板倉広高
問合せ先責任者　(役職名) 経理・財務室長　(氏名) 植野肇一　TEL 03-6555-5054

半期報告書提出予定日　2026年11月13日
配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：　有
決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2026年4月1日～2026年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	3,026	19.2	413	15.5	414	16.9	280	19.2
2026年3月期中間期	2,538	20.6	357	136.0	354	135.3	235	257.7

(注) 包括利益　2027年3月期中間期　280百万円　(19.2%)　2026年3月期中間期　235百万円　(257.7%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	13.73	―
2026年3月期中間期	11.51	―

(注)　潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期中間期	4,384	2,822	64.4
2026年3月期	4,237	2,689	63.5

(参考) 自己資本　2027年3月期中間期　2,822百万円　2026年3月期　2,689百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	―	2.00	―	5.00	7.00
2027年3月期	―	0.00			
2027年3月期(予想)			―	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　有

2026年3月期第2四半期末配当金の内訳　記念配当　2円00銭　創立20周年記念配当

3. 2027年 3月期の連結業績予想(2026年 4月 1日～2027年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	17.3	905	24.6	900	24.2	604	△11.2	29.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 ： 無

新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

(注) 詳細は、添付資料P.9「2．中間連結財務諸表及び主な注記 (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期中間期	20,996,400 株	2026年3月期	20,996,400 株
② 期末自己株式数	2027年3月期中間期	712,659 株	2026年3月期	525,959 株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2027年3月期中間期	20,448,133 株	2026年3月期中間期	20,470,441 株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料のP.3「1．経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 5
中間連結損益計算書 …… 5
中間連結包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（収益認識関係） …… 9

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当社グループは、傘下の事業会社を通じてマーケティング事業およびDX事業を展開しております。

当中間連結会計期間の売上高は3,026百万円（前年同期比19.2%増）となりました。また、営業利益は413百万円（前年同期比15.5%増）、経常利益は414百万円（前年同期比16.9%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は280百万円（前年同期比19.2%増）となりました。

事業セグメントごとの経営成績は、以下の通りとなります。

（マーケティング事業）

マーケティング事業は、株式会社キャリアインデックスおよび株式会社ホワイトキャリアが主体となり、HR領域と不動産領域において事業を運営しております。

HR領域におきましては、少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少に加え、時間外労働規制の強化（2024年問題）や産業構造の変化に伴う労働力不足が継続しております。このような状況下、当社グループでは人材業界・採用企業に向けてサービスを展開してまいりましたが、前連結会計年度に引き続き求人シェアリング事業（アライアンス・マーケティング）が同領域の業績を牽引いたしました。

求人シェアリング事業は、持株会社化に伴う当社グループ内の事業シナジーの創出において顕著な結果を上げております。一方で、労働力不足を背景とした採用候補者の集客コストは引き続き上昇傾向におり、集客手法の多様化を通じたコストの低減が重要な課題となっております。

不動産領域では、個人・法人向けにサービスを展開しております。個人向けでは、多様なユーザーニーズを取り込む一方、賃貸物件探しに付帯する引越し見積りサービスへの連携を図るなど収益基盤の強化を進め、より安定した収益を確保する構造構築を進めております。法人向けサービスにおいては、オフィス勤務への回帰が進む中、営業手法の効率化を推進することにより、受注拡大に努めてまいりました。

以上の結果、セグメント売上高は2,402百万円（前年同期比22.8%増）、セグメント利益は360百万円（同2.4%増）となりました。

なお、サービス別の売上高の内訳は以下の通りとなります。

転職	1,294百万円
アルバイト・派遣	513百万円
不動産	594百万円

（DX事業）

DX事業におきましては、法務DXを提供するContractS株式会社の黒字化が継続し、セグメント利益の増大に寄与したほか、営業支援サービス「Leadle」やオンライン面接システム「BioGraph」といったDX支援サービスにおいても底堅い収益を上げることができました。

ContractS株式会社では、契約プロセスの最適化とライフサイクル管理を可能とする法務DXサービス「ContractS CLM」を提供しております。同サービスではエンタープライズ向けの受注が進む一方、付帯する顧客ニーズを取り込むことにより、今後のさらなる成長が期待できます。

株式会社Sales Xでは営業BPOを中心にサービスを展開する中、従来の主要顧客層であったSaaS企業からの受注に加え、人手不足を背景に営業リソースが不足する顧客群の需要を取り込むことにより受注拡大を目指しております。また、株式会社マージナルでは、オンライン面接システム「BioGraph」を通じた採用DXの推進およびWebシステム・アプリケーションの開発業務を担っております。

以上の結果、セグメント売上高は623百万円（前年同期比7.3%増）、セグメント利益は52百万円（前年同期比860.7%増）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

（資産の部）

当中間連結会計期間末における総資産残高は4,384百万円となり、前連結会計年度末に比べ146百万円増加しました。これは主に、現金及び預金の増加157百万円、ソフトウェアの増加55百万円、前払費用の増加30百万円、ソフトウェア仮勘定の増加13百万円、顧客関連資産の減少91百万円、のれんの減少42百万円、未収消費税等の減少35百万円によるものであります。

（負債の部）

当中間連結会計期間末における負債の残高は1,561百万円となり、前連結会計年度末に比べ14百万円増加しました。これは主に、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）の減少85百万円、未払消費税等の減少12百万円、未払金の増加98百万円によるものであります。

（純資産の部）

当中間連結会計期間末における純資産の残高は2,822百万円となり、前連結会計年度末に比べ132百万円増加しました。これは主に、自己株式の追加取得による減少42百万円、親会社株主に帰属する中間純利益の計上や配当金の支払いの差引の結果による利益剰余金の増加178百万円によるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ157百万円増加し、1,695百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、473百万円（前年同期は388百万円の獲得）となりました。これは主に、法人税等の支払額の増加134百万円、未払消費税等の減少12百万円の支出があったものの、税金等調整前中間純利益414百万円の計上に加え、減価償却費111百万円、未払金の増加99百万円、のれん償却額42百万円、未収消費税等の減少35百万円の収入があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、82百万円（前年同期は58百万円の支出）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出79百万円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、233百万円（前年同期は285百万円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払額102百万円、長期借入金の返済による支出85百万円、自己株式の取得による支出49百万円があったことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現在入手可能な情報に基づいておりますが、今後の不確定要素により、実際の業績と異なる場合があります。なお、現時点での業績予想につきましては、2026年５月15日に公表いたしました通期の業績予想に変更はございません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,538	1,695
売掛金	593	633
その他	99	116
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	2,226	2,442
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21	19
その他（純額）	10	9
有形固定資産合計	31	29
無形固定資産		
ソフトウエア	78	133
のれん	291	249
顧客関連資産	1,393	1,302
ソフトウエア仮勘定	31	44
無形固定資産合計	1,795	1,729
投資その他の資産		
投資有価証券	2	2
敷金	87	86
会員権	23	23
繰延税金資産	66	66
その他	4	4
投資その他の資産合計	183	182
固定資産合計	2,010	1,941
資産合計	4,237	4,384
負債の部		
流動負債		
買掛金	224	223
未払金	266	364
未払費用	44	45
契約負債	173	178
未払法人税等	129	130
未払消費税等	66	54
預り金	23	27
賞与引当金	1	5
１年内返済予定の長期借入金	170	168
その他	0	0
流動負債合計	1,099	1,199
固定負債		
長期借入金	434	350
繰延税金負債	14	12
固定負債合計	448	362
負債合計	1,547	1,561
純資産の部		
株主資本		
資本金	395	395
資本剰余金	317	314
利益剰余金	2,187	2,365
自己株式	△211	△253
株主資本合計	2,689	2,822
純資産合計	2,689	2,822
負債純資産合計	4,237	4,384

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	2,538	3,026
売上原価	897	1,016
売上総利益	1,640	2,009
販売費及び一般管理費	1,283	1,596
営業利益	357	413
営業外収益		
受取利息	0	1
為替差益	－	0
受取配当金	0	0
助成金収入	0	0
キャッシュバック収入	1	1
雑収入	1	1
営業外収益合計	3	4
営業外費用		
支払利息	2	2
為替差損	0	－
損害賠償金	3	－
雑支出	0	0
営業外費用合計	7	2
経常利益	354	414
税金等調整前中間純利益	354	414
法人税等	118	133
中間純利益	235	280
非支配株主に帰属する中間純利益	－	－
親会社株主に帰属する中間純利益	235	280

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	235	280
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	－	－
中間包括利益	235	280
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	235	280
非支配株主に係る中間包括利益	－	－

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	354	414
減価償却費	103	111
のれん償却額	42	42
敷金償却額	0	0
受取利息	△0	△1
支払利息	2	2
売上債権の増減額（△は増加）	△45	△40
仕入債務の増減額（△は減少）	22	△0
未払金の増減額（△は減少）	23	99
未収消費税等の増減額（△は増加）	4	35
未払消費税等の増減額（△は減少）	△24	△12
その他	△15	△42
小計	469	608
利息及び配当金の受取額	0	1
利息の支払額	△2	△2
法人税等の支払額	△78	△134
営業活動によるキャッシュ・フロー	388	473
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4	△2
無形固定資産の取得による支出	△54	△79
その他	△0	－
投資活動によるキャッシュ・フロー	△58	△82
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△136	△85
配当金の支払額	△102	△102
自己株式の取得による支出	－	△49
自己株式の処分による収入	－	3
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△46	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	△285	△233
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	44	157
現金及び現金同等物の期首残高	1,067	1,538
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,111	1,695

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注１）	中間連結損益計算書計上額（注２）
	マーケティング事業	DX事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,957	580	2,538	－	2,538
セグメント間の内部売上高又は振替高	7	22	30	△30	－
計	1,965	603	2,568	△30	2,538
セグメント利益	352	5	357	0	357

（注）１．セグメント利益の調整額０百万円は、セグメント間取引消去であります。

２．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額	中間連結損益計算書計上額（注１）
	マーケティング事業	DX事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,402	623	3,026	－	3,026
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	10	12	△12	－
計	2,404	634	3,038	△12	3,026
セグメント利益	360	52	413	－	413

（注）１．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（収益認識関係）

（顧客との契約から生じる収益を分解した情報）

財又はサービスの種類別に分解した顧客との契約から生じる収益は以下の通りであります。

（単位：百万円）

	売上高	
	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
マーケティング事業	1,957	2,402
転職	1,075	1,294
アルバイト・派遣	417	513
不動産	463	594
その他	0	－
DX事業	580	623
マージナル	13	15
ContractS	244	290
Sales X	322	317
顧客との契約から生じる収益	2,538	3,026
その他の収益	－	－
外部顧客への売上高	2,538	3,026